

## 令和4年度第5回「金沢の未来を語る まちづくりミーティング」議事要旨

- ・日時：令和4年10月8日（土）18時30分～
- ・場所：西部環境エネルギーセンター 学習室
- ・対象：米丸、新神田、押野、西南部、三和  
(校下、地区)

### 1 開会

#### 【相川副市長】

皆さん、お集まりいただきましてありがとうございます。

連休中の最初の夜ということで、日程の調整も含めて反省すべき点が多々あったかと思えます。申し訳ございません。今後の調整の一つの反省材料として十分承ってまいりたいというふうに思います。

本日、実は村山市長が今朝ちょっと体調不良を起こしまして、急遽、町会連合会の会長さんの皆様にはご連絡を差し上げたんですけども、私、副市長のほうでこの会議を説明させていただきたいということでのお願いを差し上げました。

市長からは、まずここに参加できなかったお詫びと、それからこの機会と別の機会にまたいろんな形で皆さんのご意見を承りたいということ伝えていただきたいということ承ってまいっておりますので、どうぞどうぞ申し訳ございませんけれども、私のほうで今日説明させていただくことをご容赦いただきたいというふうに思っております。

この近辺で8月の豪雨災害時に伏見川流域の浸水被害もございました。9月補正のときに内水管理対策を強化するべく対策を調査費として計上して、その対策についてこれから地元の方の意見もお聞きをしながら、市民の安全の確保のために、また新たな取組を進めてまいりたいと思っておりますので、またその点もよろしくお願ひしたいと思ひます。

また、西部環境エネルギーセンターをここの場所で運営させていただいております。ずっと以前からもこの場所でやらせていただいております環境問題も含めまして、周辺の皆様にご協力いただいておりますことをこの場をお借りしまして改めて感謝を申し上げたいというふうに思っております。ありがとうございます。

村山市長、3月に市長選にて皆さんの負託を得て当選をさせていただきました。皆さんに負託をいただいたこと、感謝を申し上げておりました。

それと、6月議会に骨格予算を改めて肉づけする予算を組ませていただいてスタートをさせていただきました。半年ほど経過をいたしておりますけれども、都市像という形で来年度に向けていろんな方々から意見をいただきたいという思いで、今回、町会連合会の皆様とブロック単位でこのようなミーティングを設けさせていただいて、いろんなご意見を伺うことといたしております。

コロナでいろんな形で大変なご苦勞をおかけした2年間ではございましたけれども、何とか少しずつ平常を戻しつつありますが、これからも気を緩めずに皆さん方の安全安心の確保と経済対策に力を入れてまいりたいというふうに思っております。

課題については、「10年後の金沢の未来像」ということで設定をさせていただいております。金沢市の未来を語るまちづくりミーティングという位置づけをしておりますので、限られた時間ではございますが忌憚のないご意見をいただければと思いますし、村山市長の意を受けまして、私のほうからつまびらかにまたご説明をさせていただきたいと思えます。

本日は、皆さん方にお集まりいただいて、意義あるものとなるように十分努力してまいりますので、よろしくお願ひしたいと思います。

簡単ではございますが、開会に際してのご挨拶といたします。よろしくお願ひいたします。

## 2 講話「親和力で奏でる金沢」

講和の内容については、レジュメを参考願ひます。

## 3 意見交換

### 【新神田校下町会連合会】

今ほどは未来の金沢ということで10年後のまちづくりということでいろいろとお話をいただきました。ありがとうございます。

一言で言うと、やはり安全なまち、安心できるまち、そして古都金沢、文化の薫りが漂う、そんな歴史ある金沢にぜひお願ひをしていきたいと思ひます。様々な分野における今後のいろんな改善をお願ひしていききたいところであります。

私からは、新神田校下の点についての施策について、二、三意見とお礼を申し上げてい

きたいと思います。

今回ご紹介ありました糸田1丁目地内の防護柵の設立でございます。早速設立していただきまして、誠にありがとうございました。

ご存じのとおり、すぐ隣にはJR線、そしてその横に用水がありまして、柵がなく大変危険な箇所でございます。早速要望を聞いていただきまして、本当にありがたいと思っております。

そして、次は糸田道踏切の改良工事の点についてでございます。既にご存じのとおり、この糸田道踏切に関しては、多くの子どもたちが小学校、中学校の通学路として利用しております。今日は、この地内の糸田新町の町会長もここにおいでいただいておりますが、ご存じのとおり、この糸田道踏切、大変狭く、非常にすれ違うときに子供たちが本当に道路で車等に引っかけられやすい、今まで大きな事故がなかったことが本当に幸いだと思っております。長年の悲願で様々な形で市にお願いをしてきまして、ようやくこの春から工事の着工ということで今いろいろとお聞きしております。

担当の方々、市とIRでしょうか、地域にもご説明いただき、大変ご奮闘いただき、丁寧にご説明をいただいております。本当にありがとうございます。

今後もぜひ緻密な地域との連絡をお願いし、そしてまた昨年の千葉での通学路での痛ましい事故、そして先月9月には大桑でのあのような通学路での事故ということで、本当に心配しております。4年間、令和8年という短いようで長い年月でございます。できる限りこれを縮めていただく、西部管理センター庁舎の一部の取壊しなどなど例のない踏切の改良工事になるというふうにお聞きしておりますが、その辺の工事の早期着工と完成を地元としても悲願として一日千秋の思いで待っておりますので、ぜひとも今後ともよろしくをお願いをしていきたいと思っております。

2つ目は、私ども新神田校下、毎年、自主防災訓練を実施させております。残念ながら、昨年と今年はこのコロナ禍ということでありまして、通常でしたら幾つかの町会を避難場所に集めて様々な避難訓練等々を実施しているわけではありますが、このような現下の状況でありますので、人を集めるということはここを避けて、最近では、この2年は災害時における助けを求められている要支援者の安否確認をそれぞれの町会で行わせていただいております。

ここ2年間やりまして、要支援者の方々には様々な状況で、例えば寝たきりの方やとか、障害者の方などなどたくさんおいでます。先般から考えているのは、本当に実際に災害が

あったとき、この方々は本当にどうやって助けていけばいいのか、どういふお助けができるのか。最近、安否確認に行った方々からよく聞かれます。それを補完していくには、個人のそれぞれの避難計画が必要かというふうに思います。

既に努力義務ということで自治体には課せられておりますが、いち早いこの個人避難計画の策定、そしてそれがちゃんと地域と根づいた地域の中で、そして市とともに連携できるような、そんな計画をぜひつくっていただければ幸いかと思います。今後ともよろしくお願いいたします。

#### 【相川副市長】

どうもありがとうございます。

まず、糸田道踏切や糸田の防護柵についてのご意見いただきまして、いろいろなことをご報告いただきましてありがとうございます。

幼い子どもたちの命を守ること、ご指摘いただきましたように、交通安全ばかりではなく、今全国でいろんな形で子どもさんの被害があります。それを未然に防ぐためにはどうしていったらいいのか、地元の方々、警察あるいは県、私ども協力をして何とかその実現に向けてやっていきたいと思っておりますし、ご指摘いただきましたように、西部管理センターの移転ということもございまして、計画的なことをちょっと詰めなければならない点がありますけれども、完成に向けて私ども努力してまいりたいと思っておりますので、またご協力のほどをよろしくお願いしたいと思っております。

新神田校下の自主防災組織については、以前からずっと模範的な活動をしていただいておりますというふうに私ども認識をいたしております。その上で要支援者のことについてのご指摘をいただきました。どなたを、どんな形で、どうやっていくかの計画、それを義務づけられておるのはもう福祉サイドも動いておりますが、そこら辺の対応の仕方、そこを整理しているところでございまして、整理した上でいろんな避難の方法も含めて実態としてどんな方法がその方に合うのか、そして地元に対してどこら辺まで協力をいただくのか、また福祉施設がどんな形で関与するのか、福祉避難所をどんな格好で開いていくのか、もう少し検討する余地があることを一生懸命考えてやらせていただいているところでございまして、そこも踏まえて避難計画をまた自主防災組織の方々の意見も伺いながら、実現性のあるものとしてどうやっていけばいいのか、危機管理とか福祉とか、あるいは地元の関係のほうで市民局とかいろんなところが協力してまた進めてまいりますので、少し一歩

ずつ進めてまいります、時間もないということも承知しております。そこも含めて対応していきたいと思っておりますので、またご指導、ご支援のほどをよろしくお願ひしたいと思っております。よろしくお願ひいたします。

### 【三和校下町会連合会】

普段からいろいろとお世話になっております。ありがとうございます。

二、三ちょっとお尋ねいたしますけど、10年後の未来っていうことはなかなか結構な議案でございますけど、現在の金沢をやはり見詰めるのが一番いいと思っております。

10年後のこの資料を見ましたら、高齢者のことはあんまり書いてないということと、高齢化に伴いました福祉関係のことはなく、何か文化というようなことばかりが書かれておるといふので。やはり今から高齢者がますます増えるということで、私らの校下でも何百人と高齢者がおるわけございまして、そういう福祉関係のことをやはり市としても力入れてほしいということと。

もう一つは、先ほどもありましたけど、学童の交通事故が非常にたくさんあるということで。先日も市の交通政策課や、道路管理課に電話しまして、路面の標示ということで何かやっぱりカラーで描いてくれんかということで、私も市のほうへ幾つかの図案を出してあります。その中で、回答が何もなくて、今日私ちょっと見てきたんですけど、もう一月ほど前に行って立会いもしましたけど、何か予算的にはできませんというのが答弁でございます。ということで、やっぱり現実的に交通事故防止で市は、県以上のことやとる割に、我々住民は絶対危ないところを何かしてくれということをお願いしますけど、それがなかなかされとらんということで、それは順番でいろいろとやるにしても、何ら路面に描いてないわけございまして、今日この機会がございまして、ちょっと言おうかなと思っております、もう少しやっぱり市としても何か予算的に違う方面ばかりではなくて、住民の安全安心ということなら、もう少しそういうところにも力を入れて欲しいということと。

もう一つは、三和小学校は3年間ほどプールを全然使っておりません。3年前に大々的に工事しましたら、工事した途端にプールの中がもうでこぼこで使いものにならんがになってます。今年も全然使えとらんということで、いつもバスに乗って学年別に行っておる。今年ちょっと校長に聞いたら、やと今地質検査して、結局、前の業者がいいがに排水の工事をしなかったということで、私何回も学校行くんですけど、プールは見たとおりに

なでこぼこでもう話にならん。保健室にまで影響来とるわけでございまして、これを何とかして、やっぱり子どもたちのためにも来年6月か、夏までに何かなるんか、ならんがか、その結果をちょっと教えてほしいということで、もしそういう機会あったら。いつになったらプールができるか、子どもたちは毎回プール、夏休みはほとんど行っとらんということで、それちょっとお願いしたいということで。

もう一つは、危機管理監ですけど、8月大雨のときに金沢市全体が何千人と避難せんなんてテレビで出とるわけや。うちの校下も何千人もおるわけで、ほんならそういう人間みんなが避難したら学校、公民館に入れるわけがないですね。そういう避難場所を用意してもらわんと、金沢市全体が何十万人も避難せえと出た場合。校下の中でも電話かかって、「こんなたくさん避難受けて、どうなっておるんや。安原川も氾濫しらんか」って。わしのうちは安原で、全然そんな避難するような水位でもないし、やはり今度はそういう避難の指示を出すタイミングというのをもう少し縮小して出さんと、ほかの校下の方も親戚の方から「おまえのどこ大丈夫なんか」とこういう情報が入ってくると。こういう避難の出し方というものを考えてもらわんと。

そしてもう一つ、避難したときに、私、防災士と学校行きました。役所の人1人来とった。役所の方、ただこうやとるだけで、「何やったいね」と言ったら、「私、役所からただ行けって言うから来た」って言う。そんながじゃなくて、せめて来たときには来た人の名簿を書いて、どこのうちはどうやということ言わんと。

やっぱりこの避難もAランク、Bランク、5段階に分かれとるわね。一番いいことは一番低いランクでやとるだけで、「今日はどんなん、来たけど食事出るがか」って、そういう誤解を招くような避難のやり方もございました。やっぱり市としたら、そういう避難の段階というものをきちっとしたことで避難に出してほしいということで、ひとつそういうがにまたお願いしたいということで。時間もありますので私の意見はそういうことで、またひとつよろしく願いいたします。

#### 【相川副市長】

まず、福祉の関係のこと、高齢者の関係の予算のことに説明がなかったということでのご指摘をいただきました。当然のことながら、高齢者の方々が増えるという形のことになっておりますので、社会福祉、高齢者対策についても十分に配慮をしてやっていくことを前提にした上でのことだというふうにご理解いただきたいと思いますし、また元気なお年

寄りの方々がどうやってこれからの老後を過ごしていただくのか、そこら辺は生きがいはどうやって持っていただくのかも含めて対策は十分に講じていきたいと思っておりますので、そこら辺の福祉の関係の予算について決して削っているわけではございませんので、誤解のないようにまたお願いをできればなというふうに思いますし、またそのことについても努めてまいりたいというふうに思っております。

それから、学童の交通事故のことをいただきました。痛ましい事故がないように、もう一度私どももいろんな連携を深めてまいりたいと思っておりますし、ハード的な整備、今ご指摘いただきましたように確認をさせていただいたところの返事がないということだと思っておりますので、また道路の関係の部局のほうで確認をして、またご連絡を差し上げたいと思っておりますし、プールのことのご意見もいただきましたので、教育委員会のほうにもう一回確認をして、そのことについて予算措置を講じなければならないものを順番にやっていくことは事実なんですけれども、連絡を怠ることはやっぱり行政としてまずいと思っておりますので、そこも含めて反省をして、会長さんのほうにご連絡できるようにしたいと思っております。

それから、8月の大雨のことをいただきました。災害が起きたときにどんな災害になるか予知が全部できれば本当にいいんですけれども、なかなかその避難の限度といいですか、人数といいですか、そこら辺は避難情報としてどうやって出すかというのは防災の関係の職員も含めて非常に悩ましいところがあることは事実でございますけれども、できるだけ地域を限定して気象情報とかを踏まえて、的確な避難指示、避難情報を皆さんに提供するように、改めて气象台とか県とかの連携を深めてまいることには工夫をしてみたいと思っております。

それと、市の職員のことのご指摘をいただきました。これは反省しなければならないと思っておりますので、そんなことのないようにもう一回徹底をしてみたいと思っておりますので、いただいたご意見としてこれはあってはならないことだと思っておりますので、配置された職員についてもどんな形のことがあったということをもた検証をしてみたいというふうに思っております。

災害も児童の安全についても命を守る施策でございますので、決して怠ることのないように十分やってみようと思っておりますし、元気なお年寄りの方々あるいはお年寄りの方の老後につきましても対策を十分に講じるような形は基本として考えていかなければならないというふうに思っておりますので、またご協力のほどお願いいたします。

また、ご返事させていただくことについては、改めてご連絡させていただければと思

ます。

### 【西南部校下町会連合会】

これに沿ってちょっとご質問がありまして、2024年、北陸新幹線敦賀延伸になって、当然ながらJR西がIRいしかわ鉄道に移管されます。せんだって新聞報道でもありましたけれども、我々の近くの西金沢駅が来月から無人化になります。おおむね人口減少の話がされてました。当然、金沢でも2045年には四、五万人は減るんだろうということが言われています。当然ながら、利用者が減れば駅での効率化の観点から無人化になるのは仕方ないと思うんですが、ただやっぱり非常に不便です。だから、行政から補助金入れて有人化にせいとは言いません。

けれども、何年前に「Zepp」というあそこの西金沢駅裏でコンサートホールの計画がありました。あれができることによって全国からそれを目的に訪れる、公共交通機関を利用してくる方がおおよそのデータで17万人という数字が出てました。ということになれば、当然ながらいろんなところから来るんでしょう。ただ、新幹線で金沢駅まで来て、190円払って西金沢駅まで来るという方がおおむね年間7万から8万人は楽に増えるっていう、少なく見積もってですよ。そんだけの利用者が見込めるのであれば、無人化にはならなかったはずですよ。

その間、金沢市のほうでは、金沢市駅前、都ホテルの跡地、自ら近鉄ホールディングス、不動産のほうに何とかならんかというアプローチをしていましたけれども、あっちの件に関しては全く動いてませんよね、市は。建物を誘致するのが直接的な理由じゃないんですよ。我々が考えておったのは、あそこの利用者をいかにして増やすかということで考えて、「Zepp」の誘致というのは押野さんとかいろんなところと連携して署名活動もして動いてました。でも、なかなか我々だけの力では前には進まなかった。

今回、来月から無人化になりました。10年後のまちづくりを考える中で、どんどんどんどん人口が減少していくという事実ですよ、これ。じゃ、何もしないで利用者がいなくなったから、じゃ、電車がなくなっても仕方ないよねというふうに考えておられるのかどうなのか。だって、僕らもいずれ年いきます。免許返納します。公共交通機関がなくなればどこも行けなくなるんですよ。その辺は行政としてしっかりといろんな公共交通機関を維持するには、やっぱり補助金じゃ無理ですよ。利用者を増やさなきゃいけない。でも、金沢市だけの人口であれば減っていく一方。だったら、全国から来ていただいて、そこの建



物の目的を持って来られる交流人口を増やすしかないと思うんですけど、その辺どういった考えでおられるのかということと。

もう一点、この目の前、持ち込みステーションあります。これ、金沢市民の行政サービスですよ、市民に対しての。これ、金沢市民だけしか持ち込めないはずなのに、繁忙期になると保古3丁目の交差点からここの橋詰の交差点まで数珠つなぎになることがあります。これ、250メートルあります。測りました。その中に金沢市民以外が非常に混じっている。去年から多分、ここ予算370万かな、380万かな、アップして指導員増やしたはずですよ。何で金沢市民以外は注意しないんですか。何もやってないんですよ。その辺どういうふうにご考慮されるのか聞きたいんですけど。

#### 【新保都市政策局長】

都市政策局の新保と申します。まず、交通の関係にご質問ありましたので、その関係についてお話をさせていただきたいと思います。

まず、「Zepp」の話もありましたけど、J T跡地につきましては地元の方々にもいろんなご意見があって、「Zepp」がいいと言う方もいらっしゃいますし、「Zepp」はなかなか難しいと言う方もいらっしゃるというふうにお聞きをしておりました。その中で、市としてどんなことができたかということはなかなか難しい状況だとは思っておりますので、その辺については交通とは別に考えたいと思いますけれども。

今回、I Rいしかわ鉄道のほうで無人化駅が幾つかできるというふうなことは県を通じて当然市にも連絡がありました。今回、新幹線が敦賀延伸の中で、その以西についても当然I Rに移管される部分について合理化なり、今後の流れの中でI Rいしかわ鉄道は民間鉄道でございますので、そういう中での判断があったというふうにお聞きをしております。今後、人口減少、それから高齢化の中でどのように交通政策を組んでいくかという中で、今現在、第3次交通戦略というものを策定しております。その中では、新交通についても今回市長に提言がございまして、L R T、B R Tということ二者択一ではなく、もう少し将来的なことを考えていくと、まずはバスを使ってもらい。どのようにして使っていただくかということ優先的に考えるべきではないか。そういう中で、バスの環境整備をしていくということをして第1段階としてやっていこうというふうになっております。

そういうことも含めて、石川線、浅野川線、公益鉄道もございまして。それから、I R鉄道もございまして。そういうことをトータルとしてどのようにやっていくかということ市

としても今後検討させていただきたいと思っております。

【加藤環境局長】

環境局、加藤でございます。いつも大変お世話になっております。ありがとうございます。特にご当地の皆様方には、この施設含めて様々にお世話になっております。この場をお借りして、また御礼を申し上げたいと思います。ありがとうございます。

今ほど資源搬入ステーションのご指摘いただきました。主に週末とか年末とか特定の時期、また特定の時間帯に多くの方が来られて、それが渋滞を引き起こしているということは私どもも実は十分認識をしております。ご迷惑をおかけしておると反省もしております。今ほど連長さんおっしゃったように、そんなことから実は昨年度から予算を増やさせていただきまして、スムーズに流れ進むように監視指導員を3名ばかり増員をしたところでございます。

また、当然、連長さんご指摘のとおり、基本的には金沢のごみを持ち込んでいただくための施設でございますので、それぞれの地域のごみはそれぞれの地域でというそういう原則の中での常識的な判断の中での施設でございますので、そんなこともホームページなどで周知をしているところは事実でございますけれども。

一方で、ご指摘のとおり、一定程度車の市外ナンバー、金沢以外のナンバーの車がいることも、これも承知をしております。そのとおりだと思います。しかしながら、ご承知のとおり、その人が一体どこにお住まいなのかということを一一人一人チェックするということが現時点ではなかなか難しいこともご理解をいただきたいと思います。

私どもでは、先ほど予算を増やさせていただいたという中で、監視指導員だけではなくて、スピーカーを設置して音声アナウンスとかデジタルサイネージに表示をさせていただいて、金沢市民以外は持ち込むことができないということもこの場で周知をしておるところでございます。まだまだそのような取組が甘いとおっしゃるようであれば、我々も検討していかなければいけないところでございます。

こういうことは、実は金沢だけではなくて、周辺他の自治体においても持ち込みということについては同様な課題でございます。金沢だけではないわけでございます。もちろん、他の自治体の協力を得なければ私はこういうことはできないと思っておりますので、周辺自治体と情報共有を行いまして、それぞれの自治体からそれぞれの住民に対してお住まいの自治体の決められた場所に搬出をしていただくよう連携して周知啓発を図っていこう

と今考えております。また、今後とも個別に意見も聞かせていただきながら、できるだけご当地のためになるようにしてまいりたいと思います。どうかよろしく願いいたします。

**【西南部校下町会連合会】**

車で来とるんやから免許証提示ですぐ分かるんですよ。

**【加藤環境局長】**

おっしゃるとおりですね。実際に持ってこられる人と、そのごみの所有者というのがこれまた難しいところもございます。おっしゃること私もよく分かりますし、私も実はここをよく使っております。現場も見ておりますので。特にコロナになってから搬入量が途端に増えたんですね。非常に増えました。

実は今年、8月までの数字で見ますと、減り出してきました。落ち着いてきたのかも少し見ません。当然、どのような搬入状況なのかということもちょっと見なければいけないなと思っておりますので、そういうことを見ながら検討させていただきたいと思います。

**【西南部校下町会連合会】**

たまに物すごい交通渋滞が起こります。だから、その辺の状況を把握なさった上でやっていただけんかなということ。

それから、都市政策局長言われましたけれども、LRTとBRT、これまちなかのことじゃないですか。我々の地区は走るんですか。走らないですよ。だから、違う答えの仕方しないでくださいよ。僕らは公共交通、僕らの地区の公共交通のことをお尋ねしとるんであって。だから、その辺のIRいしかわ鉄道のやっぱり利用者、実際にもう値上げの発表あったでしょう。利用者が減ればだんだん減便になりますよ。ますます使い勝手が悪くなるんです。その辺も含めて、10年後の未来を考えるのであれば、真剣にこれ取り組んでいただかないと僕らはもう公共の足がなくなっちゃうんです。そういうことをお願いしています。よろしく願いします。

**【相川副市長】**

切実なお声として承ってまいりたいと思いますので、交通のこと、環境のこと、どんな

ことができるのか、そのことを執行部、また市長と協議しながら、改めて検討させていただきたいと思います。よろしくお願いいたします。

#### 【米丸校下町会連合会】

先般、8月4日の当校下の浸水被害につきまして、当校下から市役所のほうに要望を提出させていただきました。市長さんも立会いの下、受け付けていただきました。その後、迅速に現場視察においでいただきました。実態をまた説明申し上げまして、要望の内容等よろしくお願いいたしますところです。

その後、用水にたまった土砂等はきちっときれいにしていただきました。撤去していただきました。また、用水にごみを不法投棄する方がいらっしゃるのも、その立て看板等の設置もお願いいたしまして、これももう既に設置していただきました。ありがとうございます。一番肝心の排水ポンプの稼働に関しまして、点検等きちっとやっていただけるといことでお聞きしております。その後、冠水したことがないので、実際ちゃんと稼働するかどうかは、我々は確認しておりませんが、あれだけ熱心に要望を聞いていただいたので今後ともやっていただけるものと思っております。どうぞよろしくお願いいたしますとともに、その対応を非常にありがたく思っています。ありがとうございました。

#### 【相川副市長】

まず、8月4日の大雨の際に被害を受けられた方がおいでになられたこと、集中的な大雨とはいえ、その被害を被られた方にどんなことができるのか、そこを念頭に置いて対応させていただきたいと思ひまして、いろんなことをさせていただきましたが、過去に雨水ポンプ場を伏見川流域に幾つか造らせていただきました。ただ、今住宅地が張りついているところとか、その流れの話とか、今ご指摘ありましたごみの撤去でありますとか、様々な課題があったことは事実でございますので、そこをどんな形で今後起こらないようにしていくのか、それを担当部局も含めて考えてまいりたいと思ひますし、ご心配いただきました排水ポンプの稼働等につきましても点検を怠らないように、それを実際に稼働するかということも含めて、検査をしながら大雨に対応してまいりたいと思ひます。

もう自然災害でここの地域で降っていないからこっち側も降らないということはないような時期になってきていますので、そこら辺も含めて、気象情報を地域ごとにどうやって細かく气象台と連携を取ってやっていくか。その際に、どんな情報を地元の皆さんにお

あげするか。先ほどもご指摘いただきましたけど、そこら辺までやらないと被害に対応できないような気象条件になってきておりますので、そのことも踏まえて、また校下の連長さんも含めた皆さんと協議をさせていただきながら詰めさせていただきたいというふうに思っております。

**【坂本土木局長】**

土木局長、坂本でございます。先日、地元、現地の立会い、ありがとうございました。今ほど連長さんからいただきましたように、やれることは早急にさせていただきました。

冒頭に副市長からありましたように、9月の議会で対策強化費というものをお認めいただきましたので、今現在、その業者が決まって対策であるとか今回の経緯、事実とかを整理しまして、そういったことがまとまった段階で、地元の皆さんのほうにお話をまた聞く、説明をするということもしたいと思っておりますので、その際はひとつまたよろしくお願ひしたいと思っております。よろしくお願ひします。

**【上野危機管理監】**

先般、私どものほうにご要望いただいたときに、要望書には特に記載はなかったんですけども、先ほどのごみ処理とか、地元の防災士の方がいろんな作業をされるときに、なかなか身分がほかの方から見てこの方は防災士さんなのかどうか分からないというようなことがございまして何かならないかなというお尋ねがございましたので、あの後帰りまして調べましたら、他の校下、地区さんのほうでもやっぱり同様のお悩みがありまして、市のほうで100%ではないんですが、地元の方のいろんな防災資機材の補助の制度ございまして、この中で2分の1とか3分の2といったような形で、例えばビブスであるとか、あるいはそれに代わるものとか、防災士さんだと分かるようなそういったものを既に購入されている校下、地区さんございましたので、そういった制度もございまして、ぜひまたご活用いただき、私ども危機管理課のほうにお尋ねいただければまた対応したいと思っておりますので、よろしくお願ひいたします。

**【押野校下町会連合会】**

これから冬に向かいます。降らないかもしれませんが、大雪になるかもしれません。それは气象台に聞いても分からんと思います。雪が降ったときなんですけれども、う

ちの隣の隣は野々市市です。野々市は非常に雪が降ったらさっと除雪してくれます。細かいところまでしてくれるんです。そういうことを押野の皆さん知ってます。金沢と比較するのはどうかとは思いますが、所帯も海から山までありますし、野々市は平野だけです。規模も違います。財政も当然違います。いろんなことは違うんですが、私の言いたいのは、これまたやはり機材を買うときとかの助成率のアップとか、そういったことを少し検討いただけないかなというふうに思うんです。

ですから、金沢のアパートに住んでいた人が、野々市に家を建てる人をたくさん知っています。そういうことで、野々市がいいがかなと。そういうことがあってはならないと思います。私の住んでいる金沢が一番いいとこだと自分でもそう思っています。ですから、そういうことも踏まえて、少し考えていただけないかなというふうに思います。

#### 【坂本土木局長】

また、そういうシーズンになってまいりました。金沢市としましても、隣接市、町または県、国と除雪対策会議とかいう形の中で連携を図っていきたい、こういうふうに思っております。

連長さんのご理解、本当にありがたく思ひまして、これは正直言ひまして若干やっぱり遅れることもありますし、至らない点もあると思いますが、大雪になって交通の妨げになってもいけないと思いますので、そこはしっかりとまた今冬の除雪に対して対策に取り組んでまいりたいと考えております。

また、除雪の関係だと思んですが、その機材の補助に関しましては昨年度まで除雪の機械であるとか、町会が行う消雪用のポンプの購入であるとか、こういったものを3分の2から4分の3に補助率をアップしております。今年もたくさんの方々はその補助をお使ひいただいているわけなんで、まだ冬前でございますので、もしご検討されることがあれば道路管理課のほうにお問合せいただきたいと思いますと思っております。

## 4 まとめ

#### 【相川副市長】

今日は本当に有意義なご議論をいただきましてありがとうございます。

今日、村山市長が出席できませんでしたことを改めましておわびを申し上げておきたい

と思います。申し訳ございませんでした。

今日いただいたご意見を市長にしっかりとお伝えをし、10年後のまちづくりという観点ではありましたが、切実な皆さん方の声をいただきました。子どもたちの安全安心の確保でありますとか、災害に対する対応でありますとか、雪に対する対応でありますとか、まちづくりにおける公共交通のことでありますとか、ここの周辺のいろんな形の解決すべき課題もいただきました。これを10年後のまちづくりにきっちりとつなげていけるような施策を組んでまいりたいと思いますので、そのことを皆さんにお話をさせていただいて、今日お聞きしたことを十分に生かしてまいりたいと思います。

お忙しい中、本当に連休の真ただ中にお集まりをいただきました。本当に感謝を申し上げて、閉会に際してのご挨拶とさせていただきたいと思います。

今日は本当にありがとうございました。